

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 2 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)

【公開番号】 特開 2002-273674(P2002-273674A)
 【公開日】 平成 14 年 9 月 25 日 (2002.9.25)
 【出願番号】 特願 2001-75854(P2001-75854)
 【国際特許分類】

B 2 5 J 9/16 (2006.01)

A 6 3 H 11/00 (2006.01)

G 0 6 N 3/00 (2006.01)

【F I】

B 2 5 J 9/16

A 6 3 H 11/00 Z

G 0 6 N 3/00 5 5 0 E

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 11 月 21 日 (2007.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 発明の名称

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【発明の名称】 ロボットの制御装置、ロボットの制御方法、プログラム、及び記憶媒体

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

条件を示す条件情報と、当該条件が満たされた場合に実行される処理を示す処理情報のセットをパネルとして、複数記憶保持する記憶保持手段と、

前記記憶保持手段が記憶保持している複数のパネルのうち、1つを選択するパネル選択手段と、

前記パネル選択手段が選択したパネルを用いてロボットの制御を行う制御手段とを備え、

前記パネル選択手段は、

前記パネル選択手段が次に選択するパネルの候補を示す候補情報を所定個数分、記憶保持する為の候補情報記憶手段と、

前記候補情報記憶手段に記憶保持されている候補情報から 1つを選択し、選択した候補情報が示すパネルを、前記選択手段が次に選択するパネルとして決定するパネル決定手段とを備え、

前記制御手段は、

使用中のパネル内に、着目候補情報を前記候補情報記憶手段に格納する処理を示す処理情報が含まれており、且つ、当該処理情報とセットになって前記使用中のパネルに含まれている条件情報が示す条件が満たされたことを検知した場合には、前記着目候補情報を前記候補情報記憶手段に格納する

ことを特徴とするロボットの制御装置。

【請求項 2】

前記候補情報記憶手段は、同じパネルを示す候補情報を複数個記憶保持可能であることを特徴とする請求項 1 に記載のロボットの制御装置。

【請求項 3】

前記候補情報記憶手段は、前記所定数の候補情報を記憶保持している状態で新たな候補情報を受け付けると、最も過去に記憶保持した候補情報の替わりに前記新たな候補情報を記憶保持することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のロボットの制御装置。

【請求項 4】

前記候補情報記憶手段は、少なくとも 1 つ以上の候補情報を記憶することを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載のロボットの制御装置。

【請求項 5】

前記パネルに含まれる条件情報のそれぞれが優先順位を有し、

前記制御手段は、前記パネルに含まれる複数の条件情報のうち、2 以上の条件情報のそれぞれが示す条件が満たされたことを検知した場合、前記 2 以上の条件情報のうち、優先順位が最も高い条件情報を特定し、特定した条件情報とセットになっている処理情報が示す処理を実行することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のロボットの制御装置。

【請求項 6】

条件を示す条件情報と、当該条件が満たされた場合に実行される処理を示す処理情報のセットをパネルとして複数記憶保持する記憶保持手段、が記憶保持している複数のパネルのうち、1 つを選択するパネル選択工程と、

前記パネル選択工程で選択したパネルを用いてロボットの制御を行う制御工程とを備え、

前記パネル選択工程では、

前記パネル選択工程で次に選択するパネルの候補を示す候補情報を所定個数分記憶保持する為の候補情報記憶手段、に記憶保持されている候補情報から 1 つを選択し、選択した候補情報が示すパネルを、前記選択手段が次に選択するパネルとして決定し、

前記制御工程では、

使用中のパネル内に、着目候補情報を前記候補情報記憶手段に格納する処理を示す処理情報が含まれており、且つ、当該処理情報とセットになって前記使用中のパネルに含まれている条件情報が示す条件が満たされたことを検知した場合には、前記着目候補情報を前記候補情報記憶手段に格納する

ことを特徴とするロボットの制御方法。

【請求項 7】

コンピュータに請求項 6 に記載のロボットの制御方法を実行させるためのプログラム。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のプログラムを格納した、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

即ち、条件を示す条件情報と、当該条件が満たされた場合に実行される処理を示す処理情報のセットをパネルとして、複数記憶保持する記憶保持手段と、

前記記憶保持手段が記憶保持している複数のパネルのうち、1 つを選択するパネル選択手段と、

前記パネル選択手段が選択したパネルを用いてロボットの制御を行う制御手段とを備え、

前記パネル選択手段は、

前記パネル選択手段が次に選択するパネルの候補を示す候補情報を所定個数分、記憶保

持する為の候補情報記憶手段と、

前記候補情報記憶手段に記憶保持されている候補情報から1つを選択し、選択した候補情報が示すパネルを、前記選択手段が次に選択するパネルとして決定するパネル決定手段とを備え、

前記制御手段は、

使用中のパネル内に、着目候補情報を前記候補情報記憶手段に格納する処理を示す処理情報が含まれており、且つ、当該処理情報とセットになって前記使用中のパネルに含まれている条件情報が示す条件が満たされたことを検知した場合には、前記着目候補情報を前記候補情報記憶手段に格納する

ことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の目的を達成するために、例えば本発明のロボットの制御方法は以下の構成を備える。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

即ち、条件を示す条件情報と、当該条件が満たされた場合に実行される処理を示す処理情報のセットをパネルとして複数記憶保持する記憶保持手段、が記憶保持している複数のパネルのうち、1つを選択するパネル選択工程と、

前記パネル選択工程で選択したパネルを用いてロボットの制御を行う制御工程とを備え、

前記パネル選択工程では、

前記パネル選択工程で次に選択するパネルの候補を示す候補情報を所定個数分記憶保持する為の候補情報記憶手段、に記憶保持されている候補情報から1つを選択し、選択した候補情報が示すパネルを、前記選択手段が次に選択するパネルとして決定し、

前記制御工程では、

使用中のパネル内に、着目候補情報を前記候補情報記憶手段に格納する処理を示す処理情報が含まれており、且つ、当該処理情報とセットになって前記使用中のパネルに含まれている条件情報が示す条件が満たされたことを検知した場合には、前記着目候補情報を前記候補情報記憶手段に格納する

ことを特徴とする。